

# 令和7年度学校経営計画書

学校名 三次市立田幸小学校

校長名 藤井俊介

## I 学校の状況

学級数	4学級	児童数	42名	教職員数	9名
メールアドレス	takoh-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tako/				

## II 学校教育目標

塩町中学校区	『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して 自らを伸ばそうとする子供の育成』
田幸小学校	ふるさとを愛し 主体的に学ぶ ポプラっ子の育成 ～タンポポのように、強く、美しく、軽やかに～

### 【めざす子ども像】

強く：ねばり強く努力する子  
美しく：美しい挨拶ができる子  
軽やかに：軽やかに行動できる子

## III 使命・存在意義（ミッション）

- 自分たちが学んでいる地域に愛着をもち、この地域に貢献しようとする志をもった児童を育成する。
- 夢や目標の実現に向かって、他者と協力し、主体的に学び続ける児童を育成する。

## IV 重点事項（努力点）

小中9年間を通して児童生徒に特に身に付けさせたい力を次のように整理し、塩町中学校区の小中5校で連携しながら組織的に取組を進める。

- 表現力**…自分の意思・意見を相手にわかりやすく伝える力
- 主体性**…主体的に学び、自らの進路を実現する力
- 協働性**…互いの良さを引き出しながら協働し、持続可能な社会づくりに貢献する力

本校は今年度、「思考力・判断力・表現力を高める算数科授業の創造～児童が主体的に学ぶ複式・少人数学級の授業づくり～」を研究主題とした取組を継続して推進する。具体として、算数科で取り組んできた「主体的な学び合い」の場を更に効果的なものに高めるとともに、児童の学習状況に応じた適用問題の作成と活用、ICT機器の効果的な活用等によって、指導と評価の一体化を図りつつ主体的な学びの基盤を培っていく。

また、ふるさとに愛着をもち貢献しようとする児童の育成に向けて、地域連携を強化し、生活科や総合的な学習の時間等を使って地域の人々と協働する場を計画的に取り入れていく。

## V 中心価値・行動規範

<p><b>【めざす教職員像】</b></p> <p>○高い倫理観と豊かな人間性をもった教職員</p> <p>○連携・協働して職務を遂行できる教職員</p> <p><b>【めざす学校像】</b></p> <p>○安全・安心な学校      ○夢や希望を育む学校      ○地域ととともにある学校</p>
--

## VI 現状分析と今後の取組

令和6年度の評価項目と達成値	7月	2月	差
児童アンケート「学習リーダーになった時、授業の流れを意識して学習を深めることができる」「学習リーダーと協力して学び合う学習ができている」に対する肯定的評価を90%以上にする。	100%	91.4%	▲8.6
教職員アンケート「個別最適で協働的な学びの実現のために、ファシリテーターとして児童に寄り添う授業を仕組んでいる」に対する肯定的評価を75%以上にする。	100%	100%	—
算数科の単元末テスト平均が70点以上、または前回を上回る児童を90%以上にする。	86.8%	84.2%	▲2.6
教師が作成した適用題の正答率を80%以上にする。	75%	76.3%	1.3

アンケートでは児童、教職員共に目標値を達成し、肯定的に評価していることが分かる。これは教職員が組織的・計画的に授業研究を推進し、全学級で系統的な授業づくりに取り組んだことで、児童の意識も高められたと分析。算数の単元末テスト平均値は目標まであと数ポイントだが7月と2月の変化が少なく、理解や定着に課題のある児童への効果的な指導支援について更なる工夫改善が必要である。

令和6年度の評価項目と達成値	7月	2月	差
児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」に関する項目の肯定的評価の平均を85%以上にする。	児 93.5% 保 85.0% 関 100%	児 98.0% 保 94.4% —	4.5 9.4 —
握力、ソフトボール投げの記録が向上した児童を70%以上にする。	握 78.3% 投 51.3%	握 75.6% 投 51.3%	▲2.7 —
メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を80%以上にする。	91.3%	87.1%	▲4.1

児童会の取組等もあり、気持ちのよい挨拶ができる児童が増えている。児童の自覚だけでなく保護者や学校関係者の評価も高いが、場に応じた臨機応変な挨拶ができる児童はまだ少ないので、引き続き挨拶の目的や効果を自覚させながら指導を続けたい。

握力や投げる力を高めるための用具準備や行事的な活動はできたが、日々の取組が不十分で記録を向上させることができなかった。

定期的に家庭でメディアコントロールチェックを行い、メディア利用について児童や保護者に意識づけはできた。ただ、メディア機器の取扱いが家庭ごとに違っているため、目標が守れない児童の固定化が見られる。個々の家庭連携を工夫する必要がある。

令和6年度の評価項目と達成値	7月	2月	差
児童アンケート「田幸には自慢できるものがある」「地域のことをもっと知りたい」の肯定的評価を90%以上にする。	98.7%	95.7%	▲3.0

各種便りの発信回数目標を達成する。 ・学校だより・保健だより【月1回以上】 ・学級通信【月2回以上】 ・HP更新【月4回以上】	100%	100%	—
	80.6%	96.4%	15.8
	105.3%	205%	99.7

生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の方々と共に活動する農業体験学習を計画的に取り入れ、多様な関わりをもつことで地域に関心をもち、田幸ってすごい、もっと知りたい、と感じる児童が増えている。令和7年度から始まるコミュニティー・スクールを視野に入れ、更に地域と深く繋がる教育活動を共創し、「地域とともにある学校」づくりを進める。

学校の取組を積極的に情報発信し、保護者や地域から好意的な評価を多く受けることができた。今後もいろいろな方法で学校と家庭・地域が相互に情報発信・情報共有を行い、更に発展的な連携ができる体制を築いていく。

## Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための取組・方策	評価項目
確かな学力	主体的、対話的で深い学びを推進し、学力の向上を図る。	学び合いを通じた思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習リーダーが進める授業づくり推進と教師のファシリテート力の向上</li> <li>・学年に応じた学習リーダーの役割を児童に自覚させ、適切な指導・支援・評価で学びを深める。</li> <li>○読書活動の推進やICTの活用をとおして、個々の児童の主体性や思考力・判断力・表現力を向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケート「協力して学び合う学習ができている」「授業がわかる」に対する肯定的評価を90%以上にする。【表現力・主体性・協働性】</li> <li>・算数科の単元末テスト平均が70点以上、または前回は上回る児童を90%以上にする。【知識技能】</li> <li>・読書の学年月目標を達成する児童を90%以上にする。【主体性】</li> <li>・ICT機器を使った学習活動を週5回以上行う。【知識技能】</li> </ul>
豊かな心・健やかな体	<p>自他の気持ちを考え、進んで行動できる児童を育てる。</p> <p>心身の健康や体力向上にねばり強く取り組む児童を育てる。</p>	<p>相手意識、目的意識をもって表現できる子の育成</p> <p>課題に気付き、改善のための目標を設定して、やる抜く子の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場に応じたレベルの高い挨拶ができるよう、児童会を中心に挨拶運動に取り組む。</li> <li>○走力、持久力向上を目指す。</li> <li>・自己記録更新の目標を立て、体育的行事や授業、朝会、休憩時間等を通して基礎体力向上を図る。</li> <li>○メディアコントロール重点取組週間を定期的に取り入れ、健康安全なメディア利用について家族で考え、自覚を高める。</li> <li>○塩町中学校区小中学校や地域と綿密に連携し、一貫した取組を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」の項目の肯定的評価の平均を90%以上にする。【表現力・主体性】</li> <li>・50m走、シャトルランの記録が向上した児童を80%以上にする。【主体性】</li> <li>・メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を90%以上にする。【主体性】</li> <li>・総合質問紙調査で【表現力、主体性、協働性】に関する回答結果を母集団平均以上にする。</li> </ul>
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」を実現する学校経営を行う。	地域と繋がる生活科・総合的な学習カリキュラムの工夫改善と積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と綿密に連携して生活科・総合的な学習等の充実・発展を図り、協働的な学習を進める。</li> <li>○各種便りやHPで計画的に学校の情報を発信する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより【月1回以上】</li> <li>・保健だより【月1回以上】</li> <li>・学級通信【月2回以上】</li> <li>・HP更新【月5回以上】</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域等と連携した教育活動を月平均2回（年30回）以上行う。【主体性・協働性】</li> <li>・児童アンケート「学校が楽しい」「学校で学んだことは自分の役に立つ」と思う児童を95%以上にする。【主体性・協働性】</li> <li>・各種便りの発信回数目標を達成する。【主体性・表現力】</li> </ul>